



横浜市立新橋小学校

学校だより



横浜市立新橋小学校
校長 内田 宏

学ぶことの楽しさ

～「もっと知りたい」が学びを広げる～

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。友達との再会を喜ぶ姿や、夏休み中の出来事を楽しそうに話す姿から、一人ひとりの成長を感じています。いよいよ学校生活が再スタートしました。

夏休み明けの朝会では、「学ぶことの楽しさ」について話をしました。私は毎年夏休みに、自分自身が興味をもったことについて学ぶ時間をつくっています。今年は「鳥は生き残った恐竜の一つ」というテーマに興味をもち、東京・上野にある国立科学博物館を訪れました。展示を見ていく中で、現在の鳥類は恐竜から進化した生き物であるという考え方や、恐竜と鳥の骨格の共通点について知ることができました。さらに館内を見学していると、生き物の進化や環境への適応を紹介する特別展にも興味をもちました。その日は時間の関係で十分に見ることができませんでしたが、「もっと知りたい」という気持ちが強くなり、後日改めて足を運びました。そこでは、生き物たちが生き残るために進化させてきた体の仕組みや工夫について学ぶことができ、新たな疑問も次々と生まれました。すると今度は、「恐竜はどのような環境で暮らしていたのだろう」「何を食べていたのだろう」という疑問が湧いてきました。そして、その疑問を確かめたいと思い、「ヨコハマ恐竜展 2026」にも足を運びました。恐竜の食生活や生態について知ることができるとともに、恐竜から鳥へとつながる進化の流れについても学びを深めることができました。

このような経験を通して改めて感じるがあります。それは、学びは「分かった」で終わるのではなく、「もっと知りたい」から広がっていくということです。一つの疑問を追うと、新しい発見が生まれます。そして、その発見が次の問いにつながっていきます。新橋小学校では、子どもたちの「なぜだろう」「やってみたい」「もっと知りたい」という気持ちを大切にしています。教科書から学ぶことはもちろん大切ですが、本物を見たり、体験したり、人とかがわたりする中で生まれる学びには大きな力があります。実際に見て、触れて、考え、友達と話し合うことで、新たな問いが生まれ、学びはさらに深まっていきます。私たち教職員も学び続けながら、子どもたちが「分かった」で終わるのではなく、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と感じられる授業づくりに取り組んでいます。夏休み明けも、新橋小学校らしい体験的・探究的な学びを大切にしながら、子どもたちが夢中になって学べる学校づくりを進めていきたいと考えています。保護者・地域の皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

□地域で学べることのありがたさ

この夏、熊本地震や千葉豪雨により、多くの方々が被災されました。熊本県では7/28に最大震度7を観測する地震が発生し、今なお避難生活や復旧・復興に取り組まれている方々がいらっしゃいます。また、8月には千葉県で記録的な大雨による豪雨災害が発生し、人的被害や住宅被害、道路・交通網への大きな影響が報告されています。多くの方々が不自由な生活を余儀なくされており、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

自然災害の報道に触れるたびに、当たり前の日常の尊さを改めて感じます。子どもたちが学校に通い、友達と学び、地域の方々と出会いながら学習できることは決して当たり前ではありません。本校では、地域を学びの場として教育活動を進めています。地域探検やフィールドワーク、地域の方々との交流を通して、子どもたちは人や自然、まちとのつながりを学んでいます。こうした学びが実現できるのは、地域の皆様が日頃から子どもたちを温かく見守り、支えてくださっているからです。地域には、子どもたちの成長を支える多くの方がおり、守り続けられてきた自然や文化があります。子どもたちには、地域で学べることのありがたさを感じるとともに、地域の一員として自分にできることを考えられる人に育ってほしいと願っています。

被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早く平穏な日常が戻りますことをお祈りいたします。そして私たちも、今ある日常や地域とのつながりを大切にしながら、「えがお・なかよし・チャレンジ」の教育活動を進めてまいります。

□地域の皆様に支えられて

新橋小学校区では、年間を通して多くの地域の皆様が子どもたちの安全を見守ってくださっています。下校時には、弥生台自治会・グリーンハイム自治会の皆様が「学援隊」として活動し、子どもたちの帰り道を見守ってくださっています。また、毎月の交通安全指導日には、新橋連合自治会交通安全部の皆様が登校時の通学路に立ち、横断歩道や見通しの変わる場所で交通安全指導を行ってくださっています。さらに、泉警察署の皆様にも安全指導や見守り活動にご協力いただいています。

暑い日も寒い日も、雨の日であっても、子どもたちの登下校時刻に合わせて立ってくださる姿から、地域の皆様の深い愛情と責任感を感じました。一人ひとりの子どもたちに声をかけたり、車や周囲の状況に気を配ったりしながら活動してくださる姿は、子どもたちにとって大きな安心につながっています。子どもたちが安心して登下校し、地域をフィールドとして学ぶことができるのは、このような地域の皆様の支えがあってこそです。本校は、多くの方々に見守られながら教育活動を進めることができていることに、改めて感謝申し上げます。

夏休みが明け、子どもたちの学校生活が再び始まりました。今後も、地域・家庭・学校が力を合わせて、子どもたちの安全と成長を支えていければと思っています。地域の皆様には引き続き温かいお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

子どもたちの安全を守るために積極的な活用を

学校の方でも下校時はできるだけ帰る方向が同じ友達と複数人で帰ることや、不審者らしき人物がいた時にはすぐに離れることなどを引き続き指導していきます。ご家庭でも、お子さんと登下校時の確認をしていただき、様々な目で子どもたちの登下校の安全・安心を図っていきたいと考えています。ご理解ご協力をお願いします。

また、お子様から不審者に関する情報がありましたら、速やかに警察までご連絡をお願いします。

※防犯に関する情報は、学校からも可能な範囲でお伝えしておりますが、神奈川県警察では、防犯情報（声かけ事案・不審者情報等）を電子メールでお知らせする『ピーガルくん安全メール』サービスを行っています。また、警察が発信する情報を、収集・活用できる『かながわポリス』というアプリもあります。子どもたちの安全・安心を守るためには、学校と家庭、地域それぞれで情報を共有していくことが大切です。ぜひ『ピーガルくん安全メール』や『かながわポリス』を積極的にご活用いただき、日ごろから地域の防犯情報にも目を向けていただければ幸いです。「それぞれ、下記の QR コードから内容等が確認できますので、ご活用ください。

ピーガルくん安全メール

神奈川県警察公式アプリ「かながわポリス」



音楽朝会の参観時間について

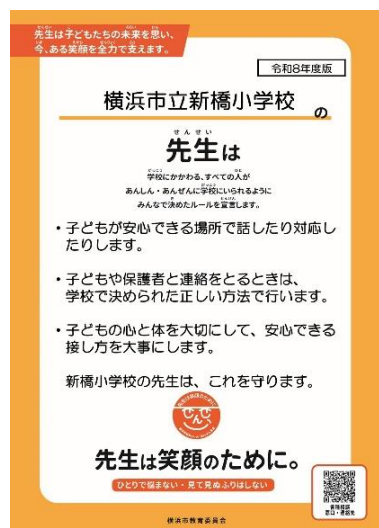
音楽朝会時のみどり門の開門時間を、子どもたちの安全の観点から次の通りにいたします。

みどり門の開門時間 8:15～8:25 音楽朝会終了後から10分間

※それ以外の時間に入退校される場合は、正門をご利用ください。

ご協力よろしくお願いします。

横浜学校あんしん・あんぜん宣言



「私たち教職員は、児童のみなさんの未来を思い、今、ある笑顔を全力で支えます。」

この宣言の内容につきましては、本校全教職員で検討し、共通理解を図ってきました。また、いずみ野中学校ブロック内での調整も進めてきました。尚、この宣言は、校内において掲示しております。

横浜の教育が目指す人づくり

『 自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人 』
に向けて、私たち職員一同は、これからも日々の教育活動に邁進していきます。